

授業科目	* 栄養教育論 I (A クラス)				単位	2		
履 修	必修	関連資格	栄養士 管理栄養士 栄養一種免		ナンバリング	NT21701J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	永原 真奈見							
授業概要	<p>栄養教育は、対象となる個人や集団が健康の維持・増進や疾病の予防・治療のために、自らの意思で食行動を望ましい方向に変容させ、問題解決を図ることができるように支援する行為である。</p> <p>本講義では、栄養教育の概念や栄養教育活動に必要な理論やカウンセリング技法、栄養教育マネジメントの進め方、教育教材の選択等、栄養教育の基礎について解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養教育の意義、定義、目的など栄養教育の概念を説明できる。</li> <li>2. 栄養教育に関わる理論とモデルについて説明できる。</li> <li>3. 行動変容のための行動科学理論及び技法について理解し、説明できる。</li> <li>4. カウンセリングの意義と特性について説明できる。</li> <li>5. 栄養教育の目標設定・計画立案・実施・評価・改善の流れを理解し、栄養教育マネジメントについて説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	20	0	10	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	5						5	
知識・理解 (DP1-2)	20	20					40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20						20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				10	10		20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	5						5	
態度(DP4-2)	5						5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	5						5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル1～5の全てを達成したうえで、栄養教育マネジメントの実際に応用することができる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養教育の意義、定義、目的など栄養教育の概念を説明できる。</li> <li>2. 栄養教育に関わる理論とモデルについて説明できる。</li> <li>3. 行動変容のための行動科学理論及び技法について理解し、説明できる。</li> <li>4. カウンセリングの意義と特性について説明できる。</li> <li>5. 栄養教育の目標設定・計画立案・実施・評価・改善の流れを理解し、栄養教育マネジメントについて説明できる。</li> </ol>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: 栄養教育の概念 栄養教育の定義、対象、歴史について解説する。	講義	予習: 教科書目次を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
2	テーマ: 人間の行動変容に関する理論 行動科学の基礎となる学習理論について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
3	テーマ: 人間の行動変容に関する理論 個人要因に焦点を当てた行動変容の理論について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
4	テーマ: 人間の行動変容に関する理論 対人関係や環境要因 及び 大規模集団や地域レベルに焦点を当てた行動変容の理論について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
5	テーマ: 栄養カウンセリング 栄養カウンセリングの特徴と基本技法について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
6	テーマ: 行動変容のための技法 行動技法の目的と具体的方法について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
7	テーマ: 栄養教育マネジメント 栄養教育マネジメントの流れ及び用いる理論やモデルについて解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
8	テーマ: 栄養教育のためのアセスメント 栄養アセスメントの意義と目的について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
9	テーマ: 栄養教育の目標設定と計画立案 目標設定や学習形態について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
10	テーマ: 栄養教育の目標設定と計画立案 教育教材(食生活指針、食品群他)について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
11	テーマ: 栄養教育の目標設定と計画立案 教育教材(食事バランスガイド)について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
12	テーマ: 栄養教育の目標設定と計画立案 栄養教育プログラム、学習指導案について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
13	テーマ: 栄養教育の実施と評価 実施に向けての準備作業と評価方法について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30

14	テーマ: 栄養教育の評価と改善 評価結果を用いて栄養教育プログラムを改善する方法について解説する。	講義 小テスト	予習: 次回授業範囲を一読しておく。 復習: 該当部分について復習し、まとめる。	30 30
15	テーマ: 栄養教育論1のまとめ 栄養教育論1の重点項目を解説する。 (試験を実施する。)	講義 まとめ (定期試験)	予習: 全授業内容を見直しておく。 復習: 全授業内容について復習し、まとめる。	30 30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまでに履修した専門基礎科目及び専門科目をしっかりと復習し、理解した上で授業に臨む姿勢が必要です。			
テキスト	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 (監修): 「栄養教育論(改訂第5版)(健康・栄養科学シリーズ)」(南江堂)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書: 松本千明 著 「健康行動理論の基礎」(医歯薬出版)、松本千明 著 「健康行動理論実践編」(医歯薬出版)、公益社団法人日本栄養士会 監修 「「食事バランスガイド」を活用した栄養教育・食育実践マニュアル」(第一出版)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	栄養教育は人を対象とし、その対象者の行動変容を支援するものです。人の心理・行動を理解し、科学的根拠に基づいた栄養教育について学びます。専門用語や理論が多く出てきます。教科書や配布資料等により予習・復習をして授業に臨みましょう。			

達成度評価に関するコメント	試験の内容については、授業の中で指示します。
---------------	------------------------